**令和５年度山科区地域保健推進協議会　摘録**

令和５年１１月１５日　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　午後２時～３時

山科区役所100臨時窓口

１　出席者（敬称略）

＜委員＞

　　山科医師会会長：髙須　雅史

　　山科歯科医師会会長：宮本　保幸

　　山科薬剤師会代表：水上　義忠

 京都府助産師会代表：清水　一美

　　山科区社会福祉協議会会長：内海　 敏

　　山科区民生児童委員会副会長：黒澤　啓一

　　山科区地域ごみ減量推進会議代表：村　法子

　　山科区地域女性連合会副会長：奥田　末子

　　福田金属箔粉工業株式会社

　　総務部安全衛生グループマネージャー：中山　義久

　　京都府医師会看護専門学校副校長：秋山　寛子

　　山科警察署長：村山　三鶴

　　市民公募委員：太田　八十一

＜事務局＞

　〇山科区役所

保健福祉センター長：白澤　康徳

子どもはぐくみ室長：木咲　圭二

　　（健康長寿推進課）

　　　　健康長寿推進課長：熊本　秀人　担当課長：小野　三二三

　　　　地域支援係長：椋木　一世　主　　任：中村　文保

　　（障害保健福祉課）

　　　　障害保健福祉課長：湯浅　秀美

　　（子どもはぐくみ室）

　　　　子どもはぐくみ課長：小林　圭吾

　　　　子育て相談係長：岩田　明子

　〇保健福祉局

医療衛生企画課担当課係長：加藤　広美

２　開会挨拶

　　白澤保健福祉センター長

３　委員紹介

４　部会長及び副部会長選任

　　部会長：髙須山科医師会会長

　　副部会長：宮本山科歯科医師会会長

５　議事

　　（議題１）令和４年度地域保健活動実績報告について

　⇒事務局から説明

（議題２）令和５年度地域における健康づくり事業について

　⇒事務局から説明

６　意見・質疑応答

* 精神疾患のある方やその御家族が相談できる窓口が区役所に設置されていることを

知らない方が多い。

⇒（事務局）相談窓口に関しては、これまでも周知に努めているところであるが、今

後もあらゆる機会を通じて、より一層取り組んでいく。

* コロナウイルスの感染法上の位置付けが５類に変更されたことに伴い、地域活動が

　再開されている。また、区民が外出される機会も増加傾向である。

一方、今年はインフルエンザが全国的に流行しており、地域によっては、検査キッ

　　　トや治療薬の入手に時間を要する事態となっている。感染予防のため、積極的なワク

チン接種をお願いする。

* 女性を中心とした若年層の間で梅毒が流行している。安易な性交渉を防止する観点

　から対策が求められる。

⇒（事務局）性感染症である梅毒が流行していることは承知している。区役所も感染

防止を目的として大学生に啓発を行っているが、今後は中学・高校にも拡大してい

きたい。

・　コロナウイルスの感染法上の位置付け変更を踏まえ、徐々にではあるが地域の行事

を再開している。健康寿命の延伸を目指し、住民要望の多いフレイル予防のためのヨ

ガや手話ソング等の取組を展開していきたい。